

# 第11期決算公告

東京都豊島区高田3丁目13番2号

株式会社J&Jギフト

代表取締役社長 梶谷 直樹

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	351,888,409	流動負債	167,357,161
現金及び預金	47,932,397	営業未払金	48,248,386
営業未収金	40,544,259	未払金	46,936,361
商品	1,380,390	未払法人税	3,875,336
前払費用	5,491,810	未払費用	897,580
繰延税金資産	5,277,941	未払消費税	272,200
関係会社短期貸付金	170,000,000	賞与引当金	7,400,000
未収金	81,146,368	前受金	9,222
その他	115,244	預り金	215,004
		前受収益	59,503,072
固定資産	199,632,895	固定負債	168,605,826
有形固定資産	16,904,239	長期前受収益	168,405,826
建物附属設備	4,267,890	退職給付引当金	200,000
器具備品	12,636,349		
無形固定資産	149,481,554	負 債 合 計	335,962,987
ソフトウェア	115,463,554	純 資 産 の 部	
ソフトウェア仮勘定	34,000,000	株主資本	215,558,317
その他	18,000	資本金	50,000,000
投資その他の資産	33,247,102	利益剰余金	165,558,317
差入保証金	18,845,000	利益準備金	1,807,000
繰延税金資産	14,402,102	その他利益剰余金	163,751,317
		繰越利益剰余金	163,751,317
		(うち当期純利益)	(14,113,916)
		純 資 産 合 計	215,558,317
資 産 合 計	551,521,304	負 債 ・ 純 資 産 合 計	551,521,304

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を適用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産・・・・・・主に定額法を適用しております。

(リース資産を除く) 平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物付属設備は、定額法を適用しております。

(2) 無形固定資産・・・・・・定額法を適用しております。

(リース資産を除く) なお、ソフトウェアについては社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を適用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金・・・・・・従業員への賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

【会計方針の変更に関する注記】

(平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第 32 号 平成 28 年 6 月 17 日)を当中間会計期間に適用し、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法へ変更しております。

なお、これによる当会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微であります。

【追加情報】

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日)を当事業年度の期首から適用しております。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式は普通株式で 1,000 株であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。